

Case 2

わずか7cmの土で簡単にできる 都心の密集地で「緑の庭」を実現！ 菜園や木を植えることも!!

S邸

コスト、メンテナンス、植物の発育...などなど、屋上庭園に憧れていても、不安材料はたくさんあります。しかし、現在、新しい技術の開発によって、その夢がより手軽に、具体的なものになっています。

資材販売/コネクト 都市緑化事業部 ☎03-5283-1388 <http://www.midorium.jp/>



DATA

所在地/東京都目黒区
住宅設計/ヒタチハウス
ガーデン面積/20㎡
工事期間/1日間
アイテム/芝、デッキ、
コスモス、
ラディッシュなど



見取図



断面図



屋上緑化には、土壌の流失、排水の詰まりなどに配慮したシステムが必要で、従来型の工法ではそれらを防止する資材が必要だが、「ミドリウム工法」では、耐根シートの上にミドリウムの土だけで緑化が可能。土の厚さも約7~10cmで植物を育てることができる。価格:ミドリウムの土¥9,900/㎡(厚さ10cm) 耐根シート¥850/㎡ 保護マット¥1,200/㎡ 1 S邸は軒高に高低差があり、一部高い部分にコスモスなどの野趣あふれる花壇を製作。2 花壇から庭園を見下ろす。一部デッキで、ランチや読書を楽しめる場に。3 菜園では白菜とラディッシュを育てている。4 もみじのような樹木も植えることが可能。

特殊な土を使って 「屋上庭園」が簡単に

目黒区の中心部。住宅密集地にS邸はある。屋上はわずか20㎡ほどのスペースだが、そこはもうひとつの「部屋」。狭小、3層の建物の上に設けられた庭園は、4層目の居住空間として、目的に応じた利用ができる場所となっている。

この屋上庭園は、新しい緑化システム「ミドリウム」によってつくられた。特殊な土を使用し、耐根シートと土だけという簡単な設備(断面図参照)で、S邸のように、樹木や野菜、芝生も育てることができる。「施工が大変そう」「コストが高いのでは...」など、屋上庭園に関する不安は多い。しかし、ミドリウムの土である中国四川省の泥炭は、水はけがよいのに、水もち、肥料もちがよいのが特徴。土自体の保水・浸透性が高く、従来の大がかりな排水システムを入れる必要がない。材料が少ない分、コスト的にも割安だ。

またS邸では、目黒区の屋上緑化助成制度(P.084参照)を利用して、施工費の一部を助成金でまかなっている。「屋上」を「庭」にするひとつの方法として制度をうまく利用することも考えたい。

